

「にっこり安心プラン（第8次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第7期宇都宮市介護保険事業計画）」主要事業の取組状況について

評価区分 A：順調に進んでいる B：概ね順調に進んでいる C：やや遅れている

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた事業は、評価結果を四角囲みで標記する。

基本目標 1 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

事業番号	【上段】取組・事業名, 【中段】事業内容, 【下段】指標	評価
1	健康ポイント事業の実施 一人でも多くの市民が積極的に健康づくりに取り組むきっかけをつくり, さらに, 健康づくりの継続を促進するため, 健康づくりの各種取組にインセンティブを提供する。	
	参加者数	A
1 1	高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進 60歳以上の者が取り組む介護保険施設等での支援活動などの「地域貢献活動」や65歳以上の者が取り組む「健康づくり活動」に対しポイントを付与し, 貯めたポイントが介護保険料の納付や市の施設利用券のほかバスカードなどの活動奨励物品への交換やボランティア団体等への寄附に充てることにより, 高齢者等の社会活動への参加を促進する。	
	事業参加者数	B
1 2	高齢者外出支援事業の推進 ・ 年度末において70歳以上の高齢者に対し, 年度1回, 本人負担なしで10,000円相当のICカード (totra) への福祉ポイント (バスの乗車にのみ使用可) の付与または, 地域内交通等の回数乗車券の交付 ・ 乗車券は, 2社共通バスカード又は, 各地域内交通から1つ選択 ・ 地域内交通の導入に向けた地域への取組支援 ・ 地域の運営組織に対する運行経費等の一部補助	
	高齢者専用バス乗車券等利用者数	B
	地域内交通の運行地区数 (郊外部)	A
1 4	老人クラブ活動の育成・支援 健康づくり活動や友愛活動など, 仲間とともに地域で活動している「老人クラブ」に対し, 会員の持つ豊富な経験やその組織力を生かした地域づくりが可能となるよう, 単位老人クラブへの活動費や連合会への運営費を補助することなどを通じ, 育成・支援に取り組む。	
	単位老人クラブ数	B
	老人クラブ会員数	B
2 3	シルバー人材センター事業の支援 働く意欲のある高齢者に, 知識や経験を活かした働く場を提供する「シルバー人材センター」に対し, 会員の更なる確保に向け, 運営費の補助などを通じ, 支援に取り組む。	
	シルバー人材センター就業延人数	B
	シルバー人材センター会員数	B

基本目標 2 「地域で支え合う社会の実現」

事業番号	【上段】取組・事業名, 【中段】事業内容, 【下段】指標	評価
27	地域ケア会議の推進	
	地域のネットワークの構築に向け, 39地区ごとに地域課題を検討する地域ケア会議, 個別ケースの支援方法等を検討する地域ケア個別会議, 見守り方法等を検討する見守り活動会議の3種類の「地域ケア会議」を地域包括支援センターに委託し開催する。	
	地域ケア会議開催回数	C
28	生活支援体制の整備	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の様々な関係者が参加する第2層協議体を, 概ね自治会連合会圏域ごとに設置し, 地域情報の共有や地域課題の把握等を行うとともに, 地域の支え合い活動の担い手育成や, 地域ニーズとサービス提供主体のマッチングなどを行う第2層生活支援コーディネーターの配置を行う。 全市域を対象とする第1層にも, 協議体や生活支援コーディネーターを配置する。 	
	第2層協議体の設置数(累計)	B
29	介護予防・日常生活支援総合事業の推進	
	一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスを提供することができるよう, これまでの介護予防訪問介護や介護予防通所介護に相当するサービスに加え, 住民主体の支援など多様なサービスを提供する。	
	生活支援サービス提供事業者・団体数(累計)	A
39	ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムの推進	
	民生委員, 地域包括支援センターの調査により, 見守り対象者を把握し, 対象者に対する見守り方法等を検討する見守り会議を開催し, 地域による見守りを行うほか, 地域包括支援センターによる安否確認を実施する。	
	安否確認人数	A

C評価の取組について(基本目標2)

- No.27「地域ケア会議の推進」については, 多職種が協働して個別ケースの支援方法等を検討する「個別課題検討会議」, 見守り方法等を検討する「見守り活動会議」, 39地区ごとに地域課題を検討する「地域課題検討会議」を開催しているところであり, 令和2年度は, 新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 特に「個別課題検討会議」において, 地域包括支援センターが民生委員や自治会と直接連絡を取り合い, 会議を開催せずに課題を検討したケースがあるなど, 必要最低限の開催になったことから, 3つの会議の合計開催数が目標値を下回った。

基本目標3 「介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現」

事業番号	【上段】取組・事業名, 【中段】事業内容, 【下段】指標	評価
4 7	地域介護予防活動支援事業	
	介護予防教室や通所型介護予防事業の教室修了者などで組織された自主的に地域で活動をしているグループ（以下「自主グループ」）に対し、通算3年5回以内の自立に向けた支援（介護予防に効果的な情報の提供や活動内容のモニタリング等）を行うほか、自主グループ交流会や活動紹介冊子の作成を行う。	
	自主グループ数	B
	自主グループ登録者	B
5 3	ケアプランに対する助言・指導の実施	
	<ul style="list-style-type: none"> 適切なケアプランが必要な手順を経て作成されているか点検を実施し、必要に応じ事業所への助言・指導を行う。 介護支援専門員等に対する研修を実施し、適切なケアプランの作成に必要な知識・理解の普及・啓発を図る。 	
	ケアプラン点検	A
5 8	家族介護教室の開催	
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な介護知識・技術習得のための講話及び講習 介護に関する相談窓口の紹介 家族間の情報交換 など 	
	家族介護教室回数	B
6 6	在宅医療・介護連携に関する従事者相談支援窓口の設置	
	医療・介護従事者に対する連携支援に向け、医療・介護従事者を対象とした相談、調整、指導、医師の派遣調整等を行う相談窓口として、「医療・介護連携支援センター」や「医療・介護連携支援ステーション」を設置する。	
	—	—

基本目標 4 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

事業番号	【上段】取組・事業名, 【中段】事業内容, 【下段】指標	評価
7 2	高齢者等ホームサポート事業の実施	
	軽易な日常生活での支援（介護保険制度の訪問介護に該当するものは除く） <ul style="list-style-type: none"> ・ 寝具類等の大物の洗濯, 日干し ・ 家周りの手入れ（庭・生け垣・庭木等） ・ 軽微な修理（棚取り付け等） ・ 屋内の整理, 整頓 ・ その他必要と認められる生活の援助 	
	事業登録者数	B
8 7	認知症サポーター等の養成・支援の推進	
	自治会などの地域の団体, 学校, 職場などに講師（認知症キャラバンメイト）を派遣し, 認知症サポーターを養成する勉強会を開催する。 また, 認知症キャラバンメイトの新規育成やスキルアップを図るための研修を実施する。	
	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	A
8 9	認知症初期集中支援チームの設置・稼働	
	認知症専門医の指導の下, 複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問, 観察・評価, 家族支援などの初期の支援を包括的, 集中的に行い, 自立生活のサポートを行う。	
	認知症初期集中支援チーム員研修受講者数	A
9 3	認知症サロン（オレンジサロン）の推進	
	認知症の人やその家族, 地域の住民, 専門職などが気軽に集い, 相互の情報交換を行うほか, 認知症の症状や予防法, 対応する介護サービス等の情報提供, 介護者の負担軽減を図る相談支援などを行う。広く市民に周知するとともに, その運営の一部を補助する。	
	認知症サロン（オレンジサロン）利用者数（累計）	B